

「能登半島地震復興支援ボランティア報告」
14(火)〜16(木)の3日間、荻野牧師、林伝道師、林良男兄の3名で石川県へ。初日は移動。2日目と3日目に能登ヘルプのボランティア活動に参加しました。

2日目は地震で家の土台が損傷したお宅を訪問。不用品の搬出作業。その集落では家が損傷したのはこのお宅ともう1軒のみ。それ故に近所との関係も微妙で、家主は被災について辛い気持ちを打ち明けることができずにいました。作業しつつ家主とお喋りをして、「お喋りばかりで「めんなさい」と仰ったので、「それもボランティアのうちですから」と答えると、家主から「それがキリスト教会さんのいいところよね」と言っていたきました。

3日目は輪島市へ。ボランティア拠点の内灘聖書教会から車で片道2時間。訪問したお宅は家の中が酷い有様で、どういう揺れをしたらこんな荷物散乱するのか?と思うほど。この日のボランティア30名程で総掛かり。10時半から15時まで、昼休みと小休止をはきみながら作業。処分をする多くの家具や雨漏りでカビた畳18枚などを外に搬出。衣類や書類、食器を仕分けるなど片付けが進みました。けれど、今は家族がバラバラで避難生活を送り、思い出が詰まった家財を手放さなければならぬなど厳しい状況に、これからの生活はどうなるのかと案じたことです。家主は「家族が無事だっただけでもありがたい」と仰っていて輪島市の厳しい状況を垣間見ました。輪島市は、大火となった朝市商店街はまだ手つかずで、かすかに焦げ臭さも漂っていました。

能登半島を縦断する高速道路は通行可能まで復旧したとはいえ、実はまだまだ各所で大がかりな補修中。路面はボコボコで、崩落した道路の脇をどうにか仮設の道を通しているという状況です。各自治体も対応に相当苦勞しているようで、被災者への支援もまだまだ見通しが立っていない部分も多く、先行きは不透明です。

能登ヘルプでは、5月に入ってボランティアの人数は一定数集まっています。しかし、ボランティアリーダーとなるスタッフ不足しており、さらには、被災者からの要請もあまりにも多くて応えきれないなど課題もあります。そうした課題を抱えつつも地道に活動し、関わる地域教会が支えています。特に、地域教会と牧師たちが、長年、地域との繋がりを築いてきたことがここで生きていて、能登ヘルプの依頼はほぼすべて教会を通じた口コミで寄せられています。教会が地域に立つ意味を考えさせられます。

蒲田シオン教会では、今後、ボランティアチームの派遣を行いたいと考えています。計画が決まり次第お知らせします。

また、それに関わらずに、個人で能登ヘルプの働きに加わることも可能です。志のある方は荻野牧師までご相談ください。

こうしてミシニアの近くまで来たとき、ビティニアに進もうとしたが、イエスの御霊がそれを許されなかった。それでミシニアを通って、トロアスに下った。その夜、パウロは幻を見た。一人のマケドニア人が立って、「マケドニアに渡って来て、私たちが助けてください」と懇願するのであった。

使徒の働き 16章7, 8, 9節

今日はペンテコステ(聖霊降臨記念日)です。クリスマス、イースターと並び、教会暦の柱となる大切な記念日です。今日は聖霊の働きについて聖書に聴きましょう。使徒の働き16章にはパウロの2回目の伝道旅行が記されています。1回目の伝道旅行では小アジア南部(現在のアナトリア半島、トルコ共和国のアジア側の地域)を巡って伝道し教会を建て上げました。第2回伝道旅行ではそれらの地域をたどり、それから北上してビティニア(黒海沿岸地域)を目指しました。ところがパウロは「アジ

アでみことばを語ることを聖霊によって禁じられ」ました(6)。福音宣教という良き業を成そうとしたのに、聖霊がそれを留められるとは、なかなか理解しがたいことです。しかしそこには主の大きな計画があります。主はパウロをマケドニア(エーゲ海沿岸で現在のギリシャ)に導かれました。キリストの福音がヨーロッパに上陸し、福音宣教がアジアからヨーロッパへと本格的に拡大したということです。さらに時を経て、当時のローマ帝国の中心であるローマへと福音は達します。

キリストの救いにあずかった者には、聖霊が心に宿ります。その聖霊は、時に私たちの願いとは異なる道へと導きます。

しかし、その先には人が想像する以上の大いなる神の計画が備えられています。最初から神の計画の全貌が明らかにされれば、楽です。けれども多くの場合、主はそのようにはなさらず、人には隠されているものです。それでも主に信頼するかが問われるのが信仰だからです。

パウロは自分の願いに固執せず、聖霊の導きの前に自分の思いを手放しました。だからこそ主はパウロを用いることができた。自分の思いを手放せる人が神の計画を担うのです。

私たちも自分の願いとは異なる道に導かれることがあります。パウロのように主の最善を信じて従い続けたいものです。(泰)

5月19日 ペンテコステ聖日礼拝
第1礼拝 9時 荻野牧師 荻野し兄
第2礼拝 11時 吉田潔兄 高橋美姉

前奏
招詞 イザヤ書43章1節

会衆賛美 聖歌603
会衆賛美 御手の中で(3面掲載)

主の祈り
交誼 詩篇31篇1〜8節
(旧約聖書 961頁)

礼拝祈禱
使徒信条
聖書朗読 使徒の働き 16章6〜15節

説教 聖霊の導きに従う
(新約聖書 267頁)
荻野泰弘牧師

会衆賛美 聖歌145
献金
頌栄 聖歌376
祝祷

報告
感謝祈禱 奏楽

【招詞(主の招きのことば)】
イザヤ書43章1節「恐れるな。わたしはあなたがたを贖ったからだ。わたしはあなたの名を呼んだ。あなたはわたしのもの。」アーメン

【本日の予定】
■会堂清掃 礼拝終了後

■こひつじ礼拝 4階 11時〜

■小学科礼拝 3階 11時〜

■ホザナ礼拝 3階 11時〜
お話 林眞実姉

■バイブルカフェ
談話室 12時15分〜

■役員会
4階牧師室 13時30分〜

【本日の礼拝奉仕者】
■第1礼拝
礼拝祈禱 司会者
聖書朗読 司会者
献金1階 司会者
献金祈禱 司会者
報告
受付
配信 配信チーム

■第2礼拝
礼拝祈禱 山本恵子
聖書朗読 西出直子
献金1階
2階
献金祈禱 司会者
報告
会場
受付
パウポ パワポチーム

【来週の礼拝説教】
プレイズサンデー
説教者 荻野牧師

【ペンテコステ(聖霊降臨日)】

クリスマス、イースターと共に教会暦の柱となる大切な記念日です。復活をしたイエス様が天に昇られたあと、弟子たちはイエス様の言葉に従ってエルサレムで祈っていました。すると「五旬節」の日に、聖霊は弟子たちの心に降りました(使徒1章、2章)。

私たちが礼拝する神は「三位一体の神」です。父なる神様、御子なるイエス様、そして聖霊なる神様という3つの人格が共に存在する一人の神です。

そのうちの聖霊なる神様は、今、キリストを信じる者の心に宿られます。かつてイエス様が地上生涯を送られたとき、聖霊はイエス様を導き、救い主としての使命に生きる生涯を支えましました。誕生(ルカ1章)、受洗(ルカ3章)、荒野の誘惑(ルカ4章)、宣教の働き(ルカ4章、10章ほか)...

そしてイエス様は、ご自身が天に昇られたあと、この聖霊を、助け主としてキリスト者の心に遣わすと約束されました(ルカ24章、ヨハネ14章)。
聖霊は、私たちが霊的に生まれ変わらせ(ヨハネ3章)、永遠の命の源となられます(同4章)。助け主として信仰者を支え(同14章)、実を結ぶ生涯を歩ませてくださるのです(ガラテヤ5章)。

【教会総会について】

【開催日】次週
5月26日(日)午後1時30分
1階 礼拝堂

- ・教会総会資料をお持ちください。
- ・やむを得ず欠席する正会員の兄弟姉妹には「議決権行使書」の提出をお願いいたします。

・他教会籍の方、新来者の方も陪席ができます。教会の様子を知るために陪席ください。

【内容について】

- *議題として扱う項目
・2023年度教会活動報告
・2023年度教会会計報告

- *今後に取り組む案件についての説明
・教会堂外壁補修の件
・聖日礼拝を1回とする件
(オンライン配信の扱いについて)

・有志ボランティアグループより皆さまのお祈り感謝と届いています。11日に第1回「わくわく子ども食堂」を実施。参加は5名(内、子ども3名)でした。また、食品配布ボランティアは次回6月1日の予定。たたいま食品の寄付を受け付けています。

【今日の配布物】
・シオンだより(教団発行)
春のホザナキャンプの証しなど掲載しています。

【礼拝賛美】御手の中で

1 御手の中で
すべては変わる賛美に
わがゆく道を 導きたまえ
あなたの御手の中で

2 御手の中で
すべては変わる感謝に
わがゆく道に あらわしたまえ
あなたの御手のわざを